



こども教育学だより

鈴鹿大学こども教育学部通信 08号

「こども教育学だより」今年度第2号が完成しました。教育学部として多様な取り組みをしています(右は、短大卒業生や一般講師向けに行っている教員採用試験対策講座(集団討論や個人面接、模擬授業など)の様子です)。意欲的な2年生も参加し、大いに刺激を受けていました。今年度から始まった勉強会もあります。今年スタートした新しい授業も紹介しています。今年のこども教育学部の姿をどうぞご覧ください。(学部長 川又俊則)



教員採用試験対策講座 (5/26)

つなぐ育ち事例勉強会

0~22才の子どもの育ちを支援する支援者のための勉強会を月1回開催しています。第1回(5/15)は「発達障がい児・者支援の現状と課題について」を学び、第2回は救急処置編で「様々な過呼吸症状の訴えと対応」を学びました。繰り返す過呼吸などの養護診断と対応に関して、参加者の中で活発な意見交換がありました。学部2年生も参加しており、現職者の方々と交流し、多くを学んでいます。



第2回つなぐ育ち勉強会 (6/8)

授業紹介



こども造形の基礎 I 上田 慎二

2年生は今回、造形授業としてはじめて行っています。幼児期に必ず使用する道具であるふとパスやクレヨンの特長や技法について専門的な講義を行いました。全員が幼児期に経験していますが線で描くことだけでなくいろんな種類のパスの経験や使い方、ふとパスを使ったモダンテクニックによる技法体験と作品製作を行いました。学生は懐かしさと気づきのなかで活動を楽しみながら活動しました。次回も継続し、ふとパスを使った活動を行います。

教育と社会(養護) 仲 律子

この授業は、私たちが当たり前で過ごしてきた学校での生活を「本当にそれは当たり前のこと?」というクリティカルな思考で見直してみることを目的にしています。授業の後半では、学生本人が課題に感じているテーマについてのディスカッションをしています。学生自らが司会をしなが、参加者全員で検討していくという主体的な学びを実践中です。「皆の前に出て話をしたり進行したりするのは緊張します」と言いながらも懸命に取り組む学生の姿に感銘を受けています。



6、7月トピックス

行事報告

こどもボランティア部の活動 (5月~7月)

5月26日(土)に、東員町総合文化センター2階講習室にて、人形劇「しあわせの種」が上演されました。16歳の少年が交通事故に遭い、残された家族・友人が死を通して、想い、考えた実話をもとにした作品です。上演3回目になる今回は、こどもボランティア部の5名の学生が上演に参加しました。幼稚園教諭を目指す部長の北出さんは、「子どもたちに命の重さを伝え、その先につなげていかなければならない。将来の勉強にもなる良い機会をいただきました。」と感想を述べていました。

放課後に公民館などを利用し、子どもの安全・安心な居場所づくりを進める目的で開室されていて地域のボランティアの方が運営している「放課後こども教室」のうち、大学のそばにある「郡山子ども教室」で、こどもボランティア部の学生たちは7月4日(水)の運営を担当しました。自己紹介、七夕の〇×クイズ、最後に子どもたちと一緒に七夕飾りを作りました。子どもたちの短冊に書かれたお願いは、「アイドルになりたい」、「お父さんともっと遊びたい」、「頭がよくになりたい」などバリエーションに富んだもので、思わず笑みがこぼれるような内容でした。子どもたちは折り紙で作る七夕飾りに熱中し、折ったり切ったり貼ったりとオリジナリティ豊かな色とりどりの七夕飾りができました。(顧問 仲律子)



1・2年合同ピアノ発表会 連弾 (6/8)



人形劇「しあわせの種」 (5/26)



郡山子ども教室 (7/4)

一人暮らしで成長中!

イメージキャラクター
よるこびちゃん



県外出身者の本学部女子バレーボール部員は、部活動・勉強だけでなく、一人暮らしもがんばっています。右の学生諸君に質問してみました Q得意料理は? A①回鍋肉とポテトサラダです。②豆腐ハンバーグです。 Q授業に遅刻しませんよね? Aスクールバスに乗れずに何回か... Q一人暮らしで気をつけていることは? A無駄遣いしないよう節約しています Q鈴鹿は暮らしやすいですか? A①飲食店が近くにあって便利です。②ゴミゴミしておらず、いい環境です。 どうやら、順調な鈴鹿LIFEを過ごしているようです。



兵庫・京都・福井・和歌山出身の皆さん

あとがき



オープンキャンパスも始まりました(上記は6/10 中山真先生の模擬授業)。8月4日(土)のオープンキャンパスでは、保育者を目指す学生が企画・実施する「こどもひろば」(就学前の子と家族を対象に実施)を初めて開催します。お楽しみに! 本紙に関して、感想やご意見をお寄せください。(TK)

平成30年 7月14日発行
鈴鹿大学
こども教育学部通信 08号